

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300299		
法人名	有限会社 ヴァンヴェール		
事業所名	グループホーム こもれび		
所在地	佐賀県鳥栖市田代昌町462番地1		
自己評価作成日	令和2年2月26日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年3月13日	外部評価確定日	令和2年4月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当事業所は、バリアフリー設計ユニット棟と民家改修型ユニット棟の2ユニットあります。ご家族の面会時間は特に制限しておらず、希望があれば同室であれば宿泊も常時可能。お食事と一緒に可能です。毎月の行事にもご家族への参加のお誘いをし、一緒に楽しんでいただいています。個人の意向を最大限添えるようなケアを基本とし、無理強いしない生活を送ってもらえるよう支援いたします。また日常生活のケアに関しても、ご自身で行えることはしていただき、日頃の調理補助や洗濯補助など、個人が「人」として「尊厳」をもって本人らしく生活できるよう支援して参ります。地域密着型の事業所のためご利用者様の中には顔なじみの方も多く当時の思い出話や経験談などで談笑される光景もよく見受けられています。様々な既往歴の方がおられ、また介護度も幅広いため、本人の身体状況やその時の体調に合わせたレクリエーションも行っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は長崎自動車道鳥栖インターチェンジ近くに位置し、同じ敷地内に2棟、民家を改修したユニットと他に1棟向き合っている。創立16年となるが平成30年8月に経営者が替わり、管理者、理念も新しくなっている。事業所はインターの近くで車の往来が多いが窓は2重になっており、外部の騒音は感じられない。周囲は多くの企業や民家がある。民家型のユニットは昔の面影が残り、懐かしさが伝わってくる。職員は利用者を目線を合わせ、手をとり、語り合い笑顔で接し、ゆっくりと楽しい生活がおくられている。利用者に7名、職員に5名と男性が多く心強く感じられる。男性職員は言葉が柔らかく、丁寧で優しさがある。利用者同士、職員同志、職員と利用者とのコミュニケーションが良く、働きやすい事業所である。職員はやる気、乗り気満々で永年勤務者が多い。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念・経営理念・行動理念・人事理念の4つの理念に基づいて、住み慣れた町での安心した生活、安楽で笑顔の絶えない日々を送れるよう支援している。	基本理念・経営理念・行動理念・人事理念の4つの理念に基づいて、住み慣れた町での安心した生活、安楽で笑顔の絶えない日々を送れるよう支援している。	経営者が変わり、理念も変わっている。理念は社内研修やミーティングの時に唱和されている。管理者も変わって間もないので理念を成し遂げる為にも職員に理念カードを渡し、周知するように計画されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町・区の役割(集金・神社の清掃・町内各区での草取り・お祭り)には参加できるようにしている。入所者へも、参加の希望があれば善処している。	町・区の役割(集金・神社の清掃・町内各区での草取り・お祭り)には参加できるようにしている。入所者へも、参加の希望があれば善処している。	自治会に加入し、町内の行事、年2回の区役や神社清掃に参加している。事業所での敬老会や避難訓練には区長、班長、民生委員の方に参加して頂き、利用者との交流が持たれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括センターや近隣の居宅介護支援センター等との交流、当施設に来訪された際の介護相談や助言・支援を行っている。また、定期的に認知症への方の接し方などの研修に参加し、知識を深めている。	地域包括センターや近隣の居宅介護支援センター等との交流、当施設に来訪された際の介護相談や助言・支援を行っている。また、定期的に認知症への方の接し方などの研修に参加し、知識を深めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の頻度で開催。地域包括支援センター・民生委員・区長・介護あんしん相談員・ご家族や入所者へ呼びかけ、参加していただき、情報交換をしている。内容はスタッフミーティング時に各棟スタッフへ報告、必要時は話し合いを実施し、サービス向上に努めている。	2ヶ月に1回の頻度で開催。地域包括支援センター・民生委員・区長・介護あんしん相談員・ご家族や入所者へ呼びかけ、参加していただき、情報交換をしている。内容はスタッフミーティング時に各棟スタッフへ報告、必要時は話し合いを実施し、サービス向上に努めている。	行政、家族の方に会議への参加の案内はしているが参加者は少ない。事業所の行事等について質問を受け、対応については家族にも報告されている。地域との関わりを得られる様に努力されている。	事業所の行事に家族の参加に合わせた会議や、運営推進会議委員の方に声を掛けて頂き、多くの参加に繋がるように工夫を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域介護保険課及び市役所社会福祉課高齢者福祉係とは、密に連絡体制をとっている。サービス担当者会議やケアプラン内容、業務に関して人員配置等の相談を行っている。	鳥栖広域介護保険課及び市役所社会福祉課高齢者福祉係とは、密に連絡体制をとっている。サービス担当者会議やケアプラン内容、業務に関して人員配置等の相談を行っている。	利用者に生保の方があり、定期的に保護課からの訪問があり、意見や相談が来ている。包括センター、2ヶ月に1回あんしん相談員の訪問があり、事業所の運営やケアマネージャー不足等課題解決についても相談し、改善している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等の適正化のための指針を策定し、3ヶ月に1度委員会を開催。適正に運営されているかを検証している。各職員間で拘束をしないための話し合いを行い、身体拘束が必要になった場合でもできる限り代替できるものがないか検討し取り組んでいる。	身体拘束等の適正化のための指針を策定し、3ヶ月に1度委員会を開催。適正に運営されているかを検証している。各職員間で拘束をしないための話し合いを行い、身体拘束が必要になった場合でもできる限り代替できるものがないか検討し取り組んでいる。	半年に1回外部研修、事業所内で3か月に1回委員会が開かれる。研修レポートを作成し職員にも伝えられている。職員は弊害や禁止について理解されている。玄関の施錠は無くチャイムで出入りの様子を知ることが来ている。言葉遣いにも心配りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員、スタッフミーティングや社内及び外部研修などで知識を深めている。個人の尊厳を守り、日々の業務の中でも心身・言葉の虐待がないよう注意を払っている。	全職員、スタッフミーティングや社内及び外部研修などで知識を深めている。個人の尊厳を守り、日々の業務の中でも心身・言葉の虐待がないよう注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内及び外部研修やスタッフミーティング、資料の回覧をし、理解を深めている。	社内及び外部研修やスタッフミーティング、資料の回覧をし、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族へ十分な説明を行い、疑問点を尋ね解決してから、署名・捺印をいただいている。	利用者や家族へ十分な説明を行い、疑問点を尋ね解決してから、署名・捺印をいただいている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や意見箱の設置をしている。契約書や重要事項説明書にその旨を明記している。また、家族の来訪時に直接意見を伺うこともある。	運営推進会議や意見箱の設置をしている。契約書や重要事項説明書にその旨を明記している。また、家族の来訪時に直接意見を伺うこともある。	こもれば便りは担当者を決め毎月発行されている。意見箱の利用はなく、面会時に多くの意見交換がある。担当者は食事の状況や利用者の歩き方等様子を書き込み写真と請求書と共に家族に郵送される。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月中旬に開催しているスタッフミーティングにて、必ず職員へ意見を述べる時間を設けている。その際すぐに検討し解決につなげ、共有するようにしている。議事録を作成し、参加・不参加を問わず熟読してもらっている。また、毎月職員の育成・評価シートの記入時に、意見を記入してもらっている。	毎月中旬に開催しているスタッフミーティングにて、必ず職員へ意見を述べる時間を設けている。その際すぐに検討し解決につなげ、共有するようにしている。議事録を作成し、参加・不参加を問わず熟読してもらっている。また、毎月職員の育成・評価シートの記入時に、意見を記入してもらっている。	毎月のミーティングでは改善して欲しい所等多くの意見が出る。意見の中で食事の時間の変更も改善された例である。意見は言い易い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	役職や資格取得に応じて細分化された給与明細になっている。役職や資格・職員の役割に応じた研修への参加を促しており、その際は勤務時間としてあてている。また、要望がなくとも最低限年5日の有給休暇の取得をしてもらっている。	役職や資格取得に応じて細分化された給与明細になっている。役職や資格・職員の役割に応じた研修への参加を促しており、その際は勤務時間としてあてている。また、要望がなくとも最低限年5日の有給休暇の取得をもらっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成については、代表者が代わったことにより社内研修が充実したため、取り組みやすくなった。それと共に外部研修へも各職員が公平に参加できるように努めている。	職員の育成については、代表者が代わったことにより社内研修が充実したため、取り組みやすくなった。それと共に外部研修へも各職員が公平に参加できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者が代わったことにより、グループ内の他事業所の職員とは社内研修や福利厚生での交流ができるようになった。	代表者が代わったことにより、グループ内の他事業所の職員とは社内研修や福利厚生での交流ができるようになった。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用前に本人の情報収集を行い、安心した生活が送れるよう不安・要望等に耳を傾けている。希望があれば、体験利用や宿泊もしていただいている。居室の雰囲気や他の利用者との交友などを観察し、本人に合った環境を整えるようにしている。	サービス利用前に本人の情報収集を行い、安心した生活が送れるよう不安・要望等に耳を傾けている。希望があれば、体験利用や宿泊もしていただいている。居室の雰囲気や他の利用者との交友などを観察し、本人に合った環境を整えるようにしている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前に事前に家族より要望を伺ったり、現在生活をされている場所へ訪問し、対面し話し合いを行っている。	契約前に事前に家族より要望を伺ったり、現在生活をされている場所へ訪問し、対面し話し合いを行っている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始の前に必ず本人や家族と面談し、その時点での日常生活動作や認知症自立度を見極め、医療や他のサービスの必要性がある場合には、その旨を紹介・説明している。	サービス利用開始の前に必ず本人や家族と面談し、その時点での日常生活動作や認知症自立度を見極め、医療や他のサービスの必要性がある場合には、その旨を紹介・説明している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が「できること」、完璧でなくても「すること」の楽しさ、喜びを分かってもらいたく、日々のコミュニケーションで信頼関係を築いていき、残存機能を活かしていけるよう努めている。	本人が「できること」、完璧でなくても「すること」の楽しさ、喜びを分かってもらいたく、日々のコミュニケーションで信頼関係を築いていき、残存機能を活かしていけるよう努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と外出や外泊、通院介助をしていただいたり、面会に来られた際には近況報告を行っている。電話や毎月の請求書発送時に苑便りや職員からのひとことを同封したり、半年ごとにお客様アンケートを送付することで、面会の頻度が少ない家族にも心身の状態を理解してもらえるよう努めている。	家族と外出や外泊、通院介助をしていただいたり、面会に来られた際には近況報告を行っている。電話や毎月の請求書発送時に苑便りや職員からのひとことを同封したり、半年ごとにお客様アンケートを送付することで、面会の頻度が少ない家族にも心身の状態を理解してもらえるよう努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで生活されてきた地域の話をついたり、ご近所の方が定期的に来訪されたりしている。要望があれば、電話などによる定期的なコミュニケーションもとれるようにしている。	これまで生活されてきた地域の話をついたり、ご近所の方が定期的に来訪されたりしている。要望があれば、電話などによる定期的なコミュニケーションもとれるようにしている。	面会は多い。家族以外でも老人会の方が面会に来られたり、電話を掛ける人もある。居室での面会が多く、お茶の接待をし、ゆっくりと会話が出来るように気配りされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者の相性を見極め、普段の生活やレクリエーションにおいて、ADL・IADL・QOLの向上につながるよう支援している。	各利用者の相性を見極め、普段の生活やレクリエーションにおいて、ADL・IADL・QOLの向上につながるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時や契約終了の場合でも家族をフォローできるよう、いつでも相談や支援に努めている(退院時の再契約の相談など)。	入院時や契約終了の場合でも家族をフォローできるよう、いつでも相談や支援に努めている(退院時の再契約の相談など)。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常的にケアの記録や言語以外のコミュニケーションから本人本位のケアができるよう支援し、各スタッフも把握できるようにしている。	日常的にケアの記録や言語以外のコミュニケーションから本人本位のケアができるよう支援し、各スタッフも把握できるようにしている。	思わぬ行動やつぶやき等からその方の思いを知る事が出来、理解を深められている。トイレの介助、体操の前後には傍により、目線を合わせ、相手の言いたいことを傾聴し、コミュニケーションを取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所にあたって生活歴や既往歴の把握、アセスメントシートの熟読を行っている。以前から介護保険のサービスを利用していた場合は、当時のケアマネジャーより情報開示の依頼をし、把握に努めている。	入所にあたって生活歴や既往歴の把握、アセスメントシートの熟読を行っている。以前から介護保険のサービスを利用していた場合は、当時のケアマネジャーより情報開示の依頼をし、把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	上記に加え、日々の介護記録や毎日の業務申し送りで現状の把握を行っている。必要時はスタッフミーティングや利用者毎のカンファレンス、専門職同士のサービス担当者会議を開催している。	上記に加え、日々の介護記録や毎日の業務申し送りで現状の把握を行っている。必要時はスタッフミーティングや利用者毎のカンファレンス、専門職同士のサービス担当者会議を開催している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	専門職・介護職・家族・利用者を含めたカンファレンスを行い、その人らしい生活ができるようなケアプランの作成をしている。困難事例の場合は介護保険課担当者へ相談したり、担当者会議を開催している。	専門職・介護職・家族・利用者を含めたカンファレンスを行い、その人らしい生活ができるようなケアプランの作成をしている。困難事例の場合は介護保険課担当者へ相談したり、担当者会議を開催している。	ケアプランとモニタリングを一緒に担当者が記入。職員にヒヤリハットを多く出してもらい、纏めてミーティングで話し合い、申し送りノートも参考にケアプランに掲げ利用者と家族の思いに近づけたプランを作成し、状況の変化時にはその都度話し合い、見直しをしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録やモニタリングにて、日々の記録や実践を確認。その後、サービス担当者会議・再アセスメントの実施・ケアプランの作成を行っている。	個別記録やモニタリングにて、日々の記録や実践を確認。その後、サービス担当者会議・再アセスメントの実施・ケアプランの作成を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への送迎、往診の依頼、入退院及び転院時の介助などを行っている。新たに生まれたニーズに対しては、柔軟に対応できるように努めている。	医療機関への送迎、往診の依頼、入退院及び転院時の介助などを行っている。新たに生まれたニーズに対しては、柔軟に対応できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や避難訓練の参加依頼、地域行事への参加などで地域の方には、わずかではあるがグループホームに対しての理解は得られたと思っている。ただ、もっと地域との関わり合いは必要だと考えている。	運営推進会議や避難訓練の参加依頼、地域行事への参加などで地域の方には、わずかではあるがグループホームに対しての理解は得られたと思っている。ただ、もっと地域との関わり合いは必要だと考えている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	契約時に必ず医療面における日常 及び緊急時の対応を説明している (常時オンコールにて対応、緊急時 の入院などの対応をしている)。	契約時に必ず医療面における日常 及び緊急時の対応を説明している (常時オンコールにて対応、緊急時 の入院などの対応をしている)。	往診は月2回。かかりつけの受診や 眼科、皮膚科等の他科の受診は職 員で対応し家族にも報告されてい る。歯科は訪問診療されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	日々の記録や回診ノートにて、情報 の共有をしている。状態変化などを 看護師へ報告、指示を仰いでいる。 必要時は往診や受診の指示、訪問 看護の指示を受けている。	日々の記録や回診ノートにて、情報 の共有をしている。状態変化などを 看護師へ報告、指示を仰いでいる。 必要時は往診や受診の指示、訪問 看護の指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供、入院時の状態 の把握、退院にあたっての状況は、 医療機関のソーシャルワーカーと連 携をとっている。	入院時の情報提供、入院時の状態 の把握、退院にあたっての状況は、 医療機関のソーシャルワーカーと連 携をとっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	ご家族が希望した場合には、こちら での看取りケアの指針をもとに主治 医・家族・スタッフとの密な情報共有 を行っている。実際に、看取りのケ アも行っている。	ご家族が希望した場合には、こちら での看取りケアの指針をもとに主治 医・家族・スタッフとの密な情報共有 を行っている。実際に、看取りのケ アも行っている。	契約時に重度化の説明をしている。 看取りの研修は行われている。本人、 家族の希望により、主治医と面談を 行い同意書を作成し、ターミナルが 開始される。対応がスムーズにでき る様にと居室を移動する事もある。 家族の泊まりもあり職員は家族の希 望に答える体制は出来ている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフミーティング時に、マニュアルを基に緊急時の対応方法について確認を行っている。救急搬送時に備え、各利用者の基本情報を記入し定期的に更新。緊急時に備えている。	スタッフミーティング時に、マニュアルを基に緊急時の対応方法について確認を行っている。救急搬送時に備え、各利用者の基本情報を記入し定期的に更新。緊急時に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対応方法については、スタッフミーティング時に確認している。上記同様、各利用者の基本情報を記入し、定期的に更新している。消防署の指導にて半年ごとに総合訓練を実施、事前の運営推進会議で報告し、区長や民生委員、班長さんにも参加をしていただいている。	災害時の対応方法については、スタッフミーティング時に確認している。上記同様、各利用者の基本情報を記入し、定期的に更新している。消防署の指導にて半年ごとに総合訓練を実施、事前の運営推進会議で報告し、区長や民生委員、班長さんにも参加をしていただいている。	消防署の指導で年2回の訓練である。地域の参加は必要と感じながらも少なく夜間想定での訓練までは至っていない。利用者も出来る限り参加している。事業所では搬送訓練を行っている。リビングにはハザードマップが掲示され、家族も避難場所は周知されている。	緊急時には職員だけでは限界である事を踏まえ、地域の参加協力が得られる様に期待したい。訓練の案内は運営推進会議委員の方や地域への案内を配布し参加をお願いしたい。夜間想定での訓練も検討いただきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者の方は人生の先輩であり、どのような話でも傾聴し、特に排泄や入浴といった羞恥心を伴いやすいケアへの声かけについては、気を使っている。声かけや会話の中でも方言は交えつつ名前や会話の語尾を敬語にするなど、言葉かけの基本は個別の面談やスタッフミーティング時において見直しと、意識の統一を図っている。	入所者の方は人生の先輩であり、どのような話でも傾聴し、特に排泄や入浴といった羞恥心を伴いやすいケアへの声かけについては、気を使っている。声かけや会話の中でも方言は交えつつ名前や会話の語尾を敬語にするなど、言葉かけの基本は個別の面談やスタッフミーティング時において見直しと、意識の統一を図っている。	接遇の研修に参加している。言葉遣いには気を付けられており、その人にあつた言葉使いになっているか、解りやすく伝わっているか、方言も上手く使い理解してもらっている。3か月に1回虐待について委員会も開かれている。職員は優しく、丁寧に柔らかな言葉使いをされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入所者の心身の状態に応じて、質問方法を変えている(オープンか、クローズドクエスチョンか)。入所者の表情の観察を確かめながら真意を汲み取れるように努め、自己決定が行えるように配慮している。	入所者の心身の状態に応じて、質問方法を変えている(オープンか、クローズドクエスチョンか)。入所者の表情の観察を確かめながら真意を汲み取れるように努め、自己決定が行えるように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の身体状況やペースに合わせて支援している。ケアにおいては無理強いをせず、その意思を尊重し臨機応変に対応している。	日々の身体状況やペースに合わせて支援している。ケアにおいては無理強いをせず、その意思を尊重し臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段の衣類も入所者の方それぞれに好みの色やデザインを選んでもらっている。状況によっては買い物支援で職員と買い物に行き、気に入ったものを購入してもらうこともある。2ヶ月毎に訪問理容サービスが来訪、散髪や髭剃り、染髪を利用される。	普段の衣類も入所者の方それぞれに好みの色やデザインを選んでもらっている。状況によっては買い物支援で職員と買い物に行き、気に入ったものを購入してもらうこともある。2ヶ月毎に訪問理容サービスが来訪、散髪や髭剃り、染髪を利用される。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は配食サービスにより、日毎に決まったメニューになっている。入所者の方にはテーブル拭きやお盆・食器拭きをお願いし、応じられた方に手伝っていただいている。	献立は配食サービスにより、日毎に決まったメニューになっている。入所者の方にはテーブル拭きやお盆・食器拭きをお願いし、応じられた方に手伝っていただいている。	配食サービスにより利用者が手伝いする事が少なくなったが、行事食、誕生会、おやつ作りには職員と利用者は残存機能を活かし、自分が出来る範囲で一緒に作っている。食事は一緒に食べてないが利用者の中に入り声を掛け、介助しながらの食事である。利用者に合わせ刻み食や体調に合わせ食べ易く、食器はその人に合ったもの、使いやすい湯呑は持ち込みである。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入所者の方一人ひとりの心身の状態を考慮し、食事形態の変更を行っている。一日の水分量測定や既往歴に伴う食事制限なども、臨機応変に対応している。	入所者の方一人ひとりの心身の状態を考慮し、食事形態の変更を行っている。一日の水分量測定や既往歴に伴う食事制限なども、臨機応変に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床後及び各食後には必ず口腔ケアを行っている。その時の状態に合わせて職員が声かけや介助を行っている。入所者の中には定期的に訪問歯科診療を受けられている方もいる。	起床後及び各食後には必ず口腔ケアを行っている。その時の状態に合わせて職員が声かけや介助を行っている。入所者の中には定期的に訪問歯科診療を受けられている方もいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介護日誌に排泄記録を記載し、個々の入所者の排泄パターンの把握を行う。心身の状態によっては常時紙オムツ使用になることもあるが、できるだけトイレでの排泄を行っている。介助が過剰にならないよう、配慮している。	介護日誌に排泄記録を記載し、個々の入所者の排泄パターンの把握を行う。心身の状態によっては常時紙オムツ使用になることもあるが、できるだけトイレでの排泄を行っている。介助が過剰にならないよう、配慮している。	現在ポータブル使用者はいない。排泄パターンを使いコントロールしながらの支援で出来ることが増えた方もあり、職員の意欲にも繋がっている。年々高齢化が進み排便困難傾向になり、必要に応じ医者と相談しながら座薬の使用で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量や食事を把握、便秘のサイクルを観察し、看護師と連携し対応をしている。医療的なケアだけでなく、食物繊維の豊富な、バランスのとれた食事や適度な運動も心がけている。	水分量や食事を把握、便秘のサイクルを観察し、看護師と連携し対応をしている。医療的なケアだけでなく、食物繊維の豊富な、バランスのとれた食事や適度な運動も心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入所者の方へ入浴の声かけを行い、本人の希望に添えるようにしている。皮膚の状態や体調には、細心の注意を払い対応している。また入浴したくなるような雰囲気づくりにも取り組み、季節に合わせたお風呂を感じていただいている。	入所者の方へ入浴の声かけを行い、本人の希望に添えるようにしている。皮膚の状態や体調には、細心の注意を払い対応している。また入浴したくなるような雰囲気づくりにも取り組み、季節に合わせたお風呂を感じていただいている。	入浴は週2回になっている。利用者の意思に沿い入浴される。季節湯、入浴剤を使う事もある。必要時には2名介助や同性の対応で安全な入浴介助が出来ている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入所者の方それぞれの生活習慣に合わせて、ベッドだけでなくリビングのソファでも休息していただいている。その際は、他の入所者に配慮しながら支援している。	入所者の方それぞれの生活習慣に合わせて、ベッドだけでなくリビングのソファでも休息していただいている。その際は、他の入所者に配慮しながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所者ごとの処方箋や内服の一覧をそれぞれファイリングし、すぐに分かるようにしている。分からない時にも、すぐに調べられるようにしている。	入所者ごとの処方箋や内服の一覧をそれぞれファイリングし、すぐに分かるようにしている。分からない時にも、すぐに調べられるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	以前に趣味として嗜まれていたことができないか、またレクリエーションで入所者それぞれに役割を持ってもらい、達成感を感じてもらうことなど、気分転換と共に楽しんでいただけるよう努めている。	以前に趣味として嗜まれていたことができないか、またレクリエーションで入所者それぞれに役割を持ってもらい、達成感を感じてもらうことなど、気分転換と共に楽しんでいただけるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入所者それぞれの心身の状態、季節や天候を考慮して、外出のレクリエーションや買い物などを行っている。家族との外出は行えているが、地域の方との外出はできていない。	入所者それぞれの心身の状態、季節や天候を考慮して、外出のレクリエーションや買い物などを行っている。家族との外出は行えているが、地域の方との外出はできていない。	利用者は外に出たい希望があり、季節の花見や職員の声掛けで衣類や必要な買い物に出かけられている。受診の帰りには家族と外食を楽しまれたり、外泊される方もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物支援の時には、できるだけ本人に支払いしてもらっている。お金の受け渡しで社会との関わりを感じていただくための努力はしているが、お金に対する理解力が低下している方も多く、全員への支援は難しい。	買い物支援の時には、できるだけ本人に支払いしてもらっている。お金の受け渡しで社会との関わりを感じていただくための努力はしているが、お金に対する理解力が低下している方も多く、全員への支援は難しい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入所者の中に難聴の方がいらっしゃるので、電話の代わりに年賀状や暑中見舞いなど、手紙の作成を一緒に行っている。	家族から電話があった時に代わることで喜ばれていた。季節ごとに年賀状や暑中見舞いを作成を一緒に行った。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節や干支のものを置いたり、共有の空間にはエアコン・換気扇・カーテンなどで空調を整え、悪臭対策も行っている。リビングは料理やテレビの音など生活感が感じられるよう、入所者の方と会話ができるように、オープンキッチンにしている。	玄関には季節や干支のものを置いたり、共有の空間にはエアコン・換気扇・カーテンなどで空調を整え、悪臭対策も行っている。リビングは料理やテレビの音など生活感が感じられるよう、入所者の方と会話ができるように、オープンキッチンにしている。	天井は高く開放感がある。利用者の季節の手作り作品が多く展示されている。廊下には毎月のお便りやあんしん相談員からのお便りが掲示されている。障害物も無く、臭いも感じられない。掃除はおおむね職員だが、利用者はその時の気分で手伝いもある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	自室で過ごす方もいれば、ソファに 座りテレビを見ている方もいる。それ ぞれが思い思いに過ごされている。	自室でお休みされている方、リビ ングでテレビを見ている方、パズルで 遊ばれる方など、思い思いに過ごさ れている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家 族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れた、なじみのある ものを持参していただき、入所者の 方が不安にならないよう考慮して いる。また無理な模様替えはせず、安 心・穏やかに過ごしていただくよう支 援している。	自宅から使い慣れた、なじみのある ものを持参していただき、入所者の 方が不安にならないよう考慮して いる。また無理な模様替えはせず、安 心・穏やかに過ごしていただくよう支 援している。	部屋間違いを防ぐ為に利用者の似 顔絵や大きな字で名前や花でその 人に合った分かり易い表示である。 ドアには鈴を付けて、移動の確認が 出来る。布団は職員がたたみ整理 整頓されている。テレビ、タンス、衣 装ケース、ラジオ、大きな鏡、お位 牌等持ち込まれている。家族の意見 を取り入れ、職員と一緒に配置され 住みやすく、落ち着いた居室になっ ている。掃除は職員だが利用者は その時の気分で手伝いもある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	入所者の方に応じて、できることを 活かした支援を行えるよう、居室の 場所・リビングの席の位置・状態に 応じた生活動線の確保など、工夫を している。	入所者の方に応じて、できることを 活かした支援を行えるよう、居室の 場所・リビングの席の位置・状態に 応じた生活動線の確保など、工夫を している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		○	1. ほぼ全ての利用者の
		○		2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
		○	○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)		○	1. ほぼ全ての職員が
		○		2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		○	1. ほぼ全ての利用者が
		○		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		○	1. ほぼ全ての家族等が
		○		2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない